



課題発見の達人

©skillbase ,inc. All rights reserved

skillbase

課題発見の達人 サービス概要

課題発見ができる人材（課題発見の達人）になるためオンラインサービスです。

E-learning学習 と課題発見カテストで「課題発見」ができる人材を育成します。

①約2時間半のE-learning学習

②課題発見カテスト

③課題発見の達人認定

(課題発見カテストで所定のレベルを達成した方が対象)

「課題発見」の達人になれる理由

	動画見放題	企業内 集合研修	課題発見の 達人
講義	○	○	○
演習	×～△	○	○
添削・評価	×	×	○
採点基準	×	×	○
再提出	×	×	○

様々な分野の
知識習得を行う

一人ひとりの
添削までは
難しい

受講生全員が
できるようになる

サービス詳細

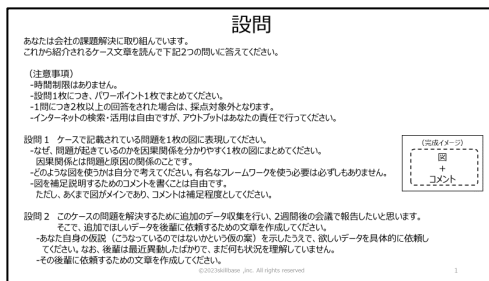
E-learning で学び、課題発見力テストを受けていただきます。
テスト結果で一定の基準を満たした方を「課題発見の達人」として認定します。

①約2時間半のE-learning学習



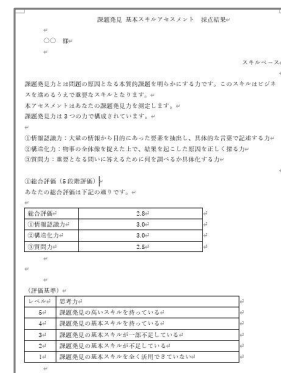
映像講義で基本を学びます。

②課題発見力テスト



時間制限なしの記述式テストを
オンライン上で提出する。

③課題発見の達人認定



課題発見力レベルをチェック
しフィードバックをもらう。

① E-learning 学習

「課題発見とは何か」を理解し、実務で使えるスキルを身につける。



- 約2時間半の映像講義
- スマホ、タブレットで受講可能
「いつでも」「どこでも」
- 進捗状況も確認可能

テーマ	ポイント
イントロダクション	課題発見とは何か？ 課題発見が難しい理由 実践例
情報認識	情報認識とは？ 情報認識するメリット ポイント① 要素を書き出す ポイント② 要素をグルーピングする ポイント③ 問題を認識する まとめ（セルフチェック）
構造化	構造化とは？ 構造化するメリット ポイント① 因果関係を捉える ポイント② 問題を分解する ポイント③ 原因を分析する まとめ（セルフチェック）
質問	質問とは？ 質問するメリット ポイント① 課題を発見するとは？ ポイント② 質問の質を上げる ポイント③ 仮説を検証するための質問 まとめ（セルフチェック）

②課題発見力テスト

Eラーニング受講後に課題発見力の実力を測定します。

- ・オンライン上で提出
- ・時間制限なし
- ・記述形式 (PPT)
- ・各項目5点満点で評価
 - 情報認識力
 - 構造化力
 - 質問力

ケース文章 (1/4)

「インテリアワーク（架空）」は、照明の製造・販売会社です。
インテリアワークは、創業者が作り上げたデザイン性の高い高級照明を販売しています。

設問

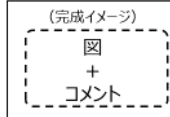
あなたは会社の課題解決に取り組んでいます。
これから紹介されるケース文章を読んで下記2つの問いに答えてください。

(注意事項)

- 時間制限はありません。
- 設問1枚につき、パワーポイント1枚でまとめてください。
- 1問につき2枚以上の回答をされた場合は、採点対象外となります。
- インターネットの検索・活用は自由ですが、アウトプットはあなたの責任で行ってください。

設問1 ケースで記載されている問題を1枚の図に表現してください。

- なぜ、問題が起きているのかを因果関係を分かりやすく1枚の図にまとめてください。
因果関係とは問題と原因の関係のことです。
- どのような図を使うかは自分で考えてください。有名なフレームワークを使う必要は必ずしもありません。
- 図を補足説明するためのコメントを書くことは自由です。
ただし、あくまで図がメインであり、コメントは補足程度としてください。



設問2 このケースの問題を解決するために追加のデータ収集を行い、2週間後の会議で報告したいと思います。

- そこで、追加でほしいデータを後輩に依頼するための文章を作成してください。
- あなた自身の仮説（こうなっているのではないかという仮の案）を示したうえで、欲しいデータを具体的に依頼してください。なお、後輩は最近異動したばかりで、まだ何も状況を理解していません。
- その後輩に依頼するための文章を作成してください。

高級ホテルなどでも利用されて

ます。
高さ調節機能も備わってい

。多くの方に利用されていま

③ 課題発見の達人認定

一人一人に課題発見力テストの結果を返却します。
レベル4.0以上で「課題発見の達人」を認定します。
 レベル4.0未満の方は再提出して達人レベルを目指すことができます

フィードバックイメージ

課題発見 基本スキルアセスメント 採点結果

○○ 様

スキルベース

課題発見とは問題の原因となる本質的課題を明らかにする力です。このスキルはビジネスを進めるうえで重要なスキルとなります。
 本アセスメントはあなたの課題発見力を測定します。
 課題発見力は3つの力で構成されています。

①情報認識力：大量の情報から目的にあった要素を抽出し、具体的な言葉で記述する力
 ②構造化力：物事の全体像を捉えた上で、結果を超えた原因を正しく探る力
 ③質問力：重要となる問いに答えるために何を調べるかを具体化する力

④総合評価（5段階評価）
 あなたの総合評価は下記の通りです。

総合評価	2.8
①情報認識力	3.0
②構造化力	3.0
③質問力	2.5

（評価基準）

レベル	思考力
5	課題発見の高いスキルを持っている
4	課題発見の基本スキルを持っている
3	課題発見の基本スキルが一部不足している
2	課題発見の基本スキルが不足している
1	課題発見の基本スキルを全く活用できていない

⑤詳細評価

思考力	詳細項目	あなたのレベル	コメント
①情報認識力	問題やその背景を認識する力	3	問題に認識できていますが具体的に認識できると良いでしょう
	問題を起こす原因を認識する力	3	原因となる要素の認識ができていますが、その要素のグループ化が出来るようになります。大量の情報を体系的に理解できるようにする必要があります。
②構造化力	全体の枠組みを捉える力	3	図を使って枠組みを捉えることができていますが、その面へ方にもっと意識を持たせることが出来るようになります。
	要素間のつながりを捉える力	3	各要素がつながっており、そのつながりに意味や機能性を持たせることができています。原因を深掘りする際に、各要素の関係を整理できると更に良いでしょう。
③質問力	質問を考える力	2	目的の質問が出来ていますが、なぜ、その質問が降りてくるか入念な目的からブレークダウンして質問を構築できると良いでしょう。
	仮説検証に必要なデータを考える力	3	仮説検証のために欲しいデータをリストアップできていますが、仮説と欲しいデータのつながりが強い部分があります。もっと具体的にどのようなデータが欲しいかを考えることが出来るようになります。

以上

達人レベルを目指す

課題発見の達人認定は、**レベル4.0以上**

課題発見カテスト レベル4.0未満は再提出可能。

(サービス受講期間中は何度でも可能)

レベル	思考力	熟練度
5	課題発見の高いスキルを持っている	素晴らしい！
4	課題発見の基本スキルを持っている	良い！
3	課題発見の基本スキルが一部不足している	おいしい！
2	課題発見の基本スキルが不足している	まだまだ！
1	課題発見の基本スキルを全く活用できていない	これから！

採点基準の公開

E-learning学習講義内で採点基準を公開します。

テーマ	ポイント
イントロダクション	課題発見とは何か？ 課題発見が難しい理由 実践例
情報認識	情報認識とは？ 情報認識するメリット ポイント① 要素を書き出す ポイント② 要素をグルーピングする ポイント③ 問題を認識する まとめ（セルフチェック）
構造化	構造化とは？ 構造化するメリット ポイント① 因果関係を捉える ポイント② 問題を分解する ポイント③ 原因を分析する まとめ（セルフチェック）
質問	質問とは？ 質問するメリット ポイント① 課題を発見するとは？ ポイント② 質問の質を上げる ポイント③ 仮説を検証するための質問 まとめ（セルフチェック）

採点基準例

その2 原因を認識する力					
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	
					where Why 要 ハ デー てい
その1 問題やその前提を認識する力					
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	
問題の記述がない	問題の捉え方が部分的になっており、本来であれば、問題と認識してほしい内容の記述がない	役割・状況を踏まえて、何が問題なのかを認識できているが、問題を定量的に表現できていない	役割・状況を踏まえて、何が問題なのかを定量的に（具体的に）表現できている	目的や背景情報を含めて問題を具体的に表現できている	

講義画面のイメージ

The screenshot displays the Skillbase LMS interface. At the top, there is a navigation bar with the Skillbase logo and icons for Home, Courses, Notifications, and Contact. Below this, the main content area is divided into two columns. The left column, titled '講座' (Courses), shows a list of courses. The top course is '課題発見の達人(受講期間3か月)' (Expert in Problem Discovery (3-month course)), which is marked as '前回受講した講座' (Previously taken course) and shows 100% completion. Below it are two more instances of the same course, one with 0% completion and another with 100% completion. The right column, titled 'お知らせ' (Notifications), contains a message about 'e-Learning利用規約はこちら' (Click here for e-Learning terms of use) and a 'すべて見る' (View all) button. A '管理画面' (Management page) link is also visible in the top right of the main content area.

<https://skillbase.learning-ware.jp/>

IDとパスワードでログインしてください。

講義画面のイメージ

課題発見プロセス

対象物

①情報認識

②構造化

③質問

©skillbase ,inc. All rights reserved

33

◀◀ 前のレッスン

◀ 前画面

▶ 次画面

▶▶ 次のレッスン

✕ 終了

受講生からの声

・課題をひとつ見つけるとつい解決の方に頭が動いてしまい、今回のように全体を俯瞰して考えることが出来ていないことにも気付きました。

・課題発見において、どのようなプロセスがあるかや各々特徴等（メリット、デメリット）について解説があり、分かりやすかった。

・ケース演習が実務に近く、自分の仕事にすぐ置き換えて考えられた点が良かったです。

・情報を集めても判断に迷っていましたが、『情報認識→構造化→質問』の流れで考えることで、次に何をすべきかが自然と見えるようになりました。

・テストのFB結果をいただきました。全体としての点数だけでなく、詳細評価もあるので具体的に自分がどの部分が苦手か明確になり良いと思いました。採点結果について、レベル表記のため、どこが不足しているのかが把握しやすかった。